

第37回日本パラ水泳選手権大会実施要綱
(世界パラ水泳連盟(WPS)公認大会)

1. 目的 本大会は、指定地域大会等で参加標準を突破した全国の障がい者が、日本一を決定する国内最大の水泳競技大会である。この大会において自己の有する能力に挑戦し、社会へ参加する意欲を大いに喚起するとともに障がい者のスポーツ振興を図ることを目的とする。また、水泳競技の魅力を知ってもらうとともに競技力の向上に資する。本来は2020年11月に開催予定していたが、2020年3月以降新型コロナウイルス感染症の影響を受け、指定地域大会等が開催されていないことを鑑み、特別な対応ならびに感染症拡大防止策に基づいて開催する。
2. 大会名 第37回日本パラ水泳選手権大会
3. 主催 一般社団法人 日本身体障がい者水泳連盟 (以下「JPSF」という。)
4. 主管 第37回日本パラ水泳選手権大会実行委員会
5. 後援 (予定) スポーツ庁、厚生労働省、内閣府、(公財)日本障がい者スポーツ協会、日本障害者水泳協会、(公財)日本水泳連盟、(社福)日本身体障害者団体連合会、(社福)全国社会福祉協議会、静岡県、静岡県教育委員会、富士市
6. 協力 (予定) (一社)静岡県水泳連盟、(公財)静岡県障害者スポーツ協会
(一社)日本知的障害者水泳連盟、(一社)日本ろう者水泳協会
7. 協賛 (予定) (株)大和証券グループ本社、大和ハウス工業(株)、(株)ゴールドウイン、味の素(株)、(株)フジタ、全日本空輸(株)、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、富士通(株)、(株)トヨタ、パナソニック(株)、東京ガス(株)、DHLサプライチェーン(株)、タキロンマテックス(株)、JXTGエネルギー(株)、(株)ヒカリスポーツ、(株)グロリアツアーズ
8. 期 日 2021年3月6日(土)～7日(日)
公式練習日3月5日(金) 13時～
9. 会 場 静岡県富士水泳場 (50m×10レーン、水深2.0m)
静岡県富士市大淵266番地 URL <http://www.fuji-pool.jp>
10. 競技方法
(1)個人種目は、男女別に行う。
(2)個人種目及びリレーは、エントリータイム順で組分けし、すべてタイムレースとする。
順位は一般・シニアそれぞれのクラス毎に集計・掲示され入賞者にメダルが授与される。
(3)今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため無観客大会とする。
介助者が必要な選手は、必要最小限の介助者を同行できる。
(4)日本障がい者スポーツ協会のスポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン(「以下「感染拡大予防ガイドライン」という」<https://www.jsad.or.jp/coronavirus/pdf/guideline.pdf>)ならびに第37回日本パラ水泳選手権大会における新型コロナウイルス感染防止策(別紙⑤)に沿って行う。
11. 競技種目 別紙「競技種目一覧表」のとおり

12. 競技順序 16. 日程(3)競技日程のとおり

13. 競技規則 世界パラ水泳連盟(WPS)競技規則および本大会要綱等による。ただし、S21の選手については、障がい状態によって適用事項が判断される。またS15の選手はFINA規則が適用される。

14. 参加資格および制限

*知的障害者の選手は別紙による。

*当連盟の登録選手ではない(一社)日本ろう者水泳協会(以下JDSAとする)所属の選手は、オープン参加とする。

(以下はJPSSF登録選手のみ)

(1)参加資格 個人種目は、下記の①②のすべてを満たす者。もしくは①を満たし、③か④のいずれかに該当する2020年度日本身体障がい者水泳連盟登録者。

① 肢体不自由者および視覚障がい者は、日本身体障がい者水泳連盟が認めた競技クラスを持っている者。

② 下記の大会において、申込種目すべてが別紙の参加標準記録に達している者。

・第29回(2019年)東北障がい者選手権水泳競技大会

・第33回(2019年)関東身体障がい者水泳選手権大会

・第26回(2019年)中部障がい者水泳選手権大会

・第30回(2019年)近畿身体障がい者水泳選手権大会

・第25回(2019年)中国四国身体障がい者水泳選手権大会

・第30回(2019年)九州障がい者水泳選手権大会

・第36回(2019年)日本パラ水泳選手権大会(千葉県)

・2020(強化指定選手等)秋季記録会(宮城県)

・2020年度に地域連盟が関係した記録会、及び当連盟が主催した通信記録会(本大会の申込み締切日までに記録の申請が終わっていること)

・2020年度に開催された各都道府県水泳連盟主催大会・マスターズ大会(記録を証明する資料の提出が必要)

・上記参加資格を達成している方で、大会申込書が郵送で届いていない参加希望者は、

jpsf-moushikomi@paraswim.jpへ問い合わせること。

③ 競技クラスを持っていない新規登録者50m自由形のみオープン種目で出場できる。ただし通信大会で50m種目の記録が申請されていること。

④ 日本身体障がい者水泳連盟から推薦を受けた者。

(2) 制限

①個人種目は、1人2種目以内とするが、リレーは含めない。

ただし、1月22日申込み締切日に国際パラリンピック委員会(IPC)ライセンス登録をしている選手については、別紙標準記録に達している4種目まで参加可能とする。

②リレーは、登録団体対抗とし1団体1種目1チーム以内とする。また、リレーに出場する選手は個人種目に参加し、競技クラスを持っている選手で編成されていること。

③400m自由形については下記「ア、イ」を満たしている者。

ア. クラス(S6、S7、S8、S9、S10、S11、S12、S13)

イ. 2021年IPC国際ライセンス登録者

(3) 留意事項

①*参加選手及び、選手と一緒に施設内に同行する介助者・コーチの健康状況については、大会参加2週間前から記入した「健康チェックシート」の提出が必要である。「健康チェックシート」は事前に配布するので、初日(練習日または大会日)に必ず持参すること。提出がない場合は会場に入場できない。また、健康状態



によって入場をお断りすることがある。健康状態を確認し入場可能と判断され手続きを済ませた方にADカードを渡す。

(本大会は無観客で行うが、2階の観覧席で待機される場合でも2週間前から記入した「健康チェックシート」の提出が必要である。) 詳しくは『JPSF宿泊を伴う合宿等の事業における感染防止策2020年9月5日改訂』(連盟HPお知らせ9月20日掲載)ならびに別紙⑤『第37回日本パラ選手権大会における感染防止策暫定版』(更新は随時HPに掲載)を確認すること。

②出場決定後に納入された参加料等は原則返金しない。

ただし、コロナ感染症拡大によって大会を中止する場合がある。その場合は参加料を返金する。中止する場合はHPにてお知らせする。

③大会で実施する各リレーはポイント制を採用する。28ポイントリレーと38ポイントリレーの両方に同一選手は参加できない。

15. 表彰

(1)新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で密を避けるため表彰式は行わない。メダル、トロフィー、記録証は別途引渡場所を設けるので大会終了までに受け取って帰ること。

(2)男女別、種目別、およびリレー種目で1位、2位、および3位の選手にメダルを授与する。ただし、参加申込者が2名(チーム)までの種目は1位のみ、3名(チーム)の種目は2位までにメダルを授与する。

(3)リレー優勝チームには優勝トロフィー等を授与する。

(4)完泳者全員に記録証を発行する。

(5)この大会の記録はクラス分け結果を反映させてJPSFの記録として公認される。

リレーの第1泳者のタイムは公式記録として取り扱わない。

(6)日本記録は個人種目で、ステータスがJ、JR、JR西暦年、R、R西暦年、Cである場合を対象とする。

リレーは本大会のみの競技であり、大会記録のみとし、日本記録の対象としない。

(7)オープン参加の選手は表彰の対象とはしない。(また、JDSA経由で申込みしている選手は表彰の対象としない。)

16. 日程

(1)受付時間 3月6日(土) 8:30 ~

3月7日(日) 8:30 ~

(2)練習時間 3月5日(金) 13:00 ~ 17:00

3月6日(土) 8:40 ~ 9:50

3月7日(日) 8:40 ~ 9:50

(3)競技日程

競技順序	
3月6日(土) 〈1日目〉	3月7日(日) 〈2日目〉
開会 10:00	競技開始 10:00
競技開始 10:10 (予定)	17. 女子200m自由形
1. 女子400m自由形	18. 男子200m自由形
2. 男子400m自由形	19. 女子100mバタフライ
3. 女子200m個人メドレー	20. 男子100mバタフライ
4. 男子200m個人メドレー	21. 女子100m背泳ぎ
5. 女子150m個人メドレー	22. 男子100m背泳ぎ
6. 男子150m個人メドレー	23. 女子50m平泳ぎ (シニア競技を含む)



7. 女子50m背泳ぎ (シニア競技を含む)	24. 男子50m平泳ぎ (シニア競技を含む)
8. 男子50m背泳ぎ (シニア競技を含む)	25. 女子50m自由形 (シニア競技を含む) (女子50m自由形オープン)
9. 女子50mバタフライ (シニア競技を含む)	26. 男子50m自由形 (シニア競技を含む) (男子50m自由形オープン)
10. 男子50mバタフライ (シニア競技を含む)	27. 4×50mフリーリレー 28p
11. 女子100m自由形	28. 4×50mフリーリレー 38p
12. 男子100m自由形	閉会
13. 女子100m平泳ぎ	
14. 男子100m平泳ぎ	
15. 4×50mメドレーリレー 28p	
16. 4×50mメドレーリレー 38p	

注：今年度は申込状況などにより、一部変更することがある。リレーはタイムレースとする。

17. 本大会におけるクラス分けは実施しない。

18. アンチ・ドーピング (以下、JADAからの注意喚起文による)

- ・本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- ・本大会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなす。
- ・知的障害者及び大会期間中現在で未成年者(18歳未満)については、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続に対する親権者からの同意書を持参しておくこと。詳しくは<https://www.playtrue.japan.org/jada/u18.html>にて確認し、同意書を準備して参加すること。
- ・本大会参加者は、本大会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- ・2021年1月より日本アンチ・ドーピング規程ならびに運用が変更になっているので、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtrue.japan.org>)にて詳細まで確認すること。

19. 免責事項

- (1)参加者の健康管理は、本人の責任とし各自十分注意すること。
- (2)会場における事故などについては応急処置のみとし、その他の責任は負わない。

20. 申込規定

知的障害者の選手は別紙による。当連盟の登録選手ではないJDSA所属の選手は、JDSAを通して申し込むこと。

(以下はJPSF登録選手のみ)

- (1)申込方法 ◇団体 別紙「団体用参加申込要領」を参照に申し込むこと
◇個人 別紙「個人用参加申込要領」を参照に申し込むこと
- (2)申込先 〒651-0085 神戸市中央区八幡通4丁目1-15 成樹ビル303
第37回日本パラ水泳選手権大会実行委員会
*申込み書の送付は必ず、郵送で行うこと(切手などは申込み者が負担すること)
- (3)問合せ 下記にファックスまたはE-mailにて問い合わせること。
FAX:078-855-6685 E-mail: jpsf-moushikomi@paraswim.jp

(4)参加費

個人種目 1種目 : 2,000円

リレー種目 1チーム : 3,000円

*参加費の納入は決定通知と共に、振込先を連絡する。

2021年2月頃を予定しているので、申込時には入金しないこと。

(5)締切日 2021年1月22日(金)必着 *締切後の追加申込・変更等は受け付けない。

(6)宿泊 (株)タビックスジャパンが斡旋する。(別紙)

(7)昼食 希望者は、参加申込書に必要数を記入すること。弁当1個800円(お茶付き)

(8)その他 プログラム・スタートリストを参加選手1人につき1冊無償で配布する予定

21. その他留意事項

(1) 本大会は無観客で行われるが、介助者と18歳未満の選手の同行者は入場できる。介助者は選手1名につき1名までとする。18歳未満の選手の同行者は1名までとする。ただし、泳法例外コード(CoE)AまたはTがある選手に限り介助者は2名までとする。

(2) タッパーならびに入退水介助者は参加者で準備すること。あわせて、タッパーや入退水介助者は参加申込み時に申し込んでおくこと。

(3) JPSF所属選手の本大会記録は、東京2020パラリンピック大会水泳競技日本代表推薦選手選考、国際大会出場選手選考など選考の参考記録にする。

(4)水着については、原則としてFINA及びWPSの規則に従うこと。

(5)本大会では、ユーチューブによる中継をする。誰もがインターネット等で競技を見ることができていることを理解の上、参加すること。

(6)(5)以外にも主催者や主催者が承認した報道機関に撮影・録音され、報道されることがあることを理解の上、参加すること。

(7)主催者側で撮影・録音した肖像はJPSFの広報活動や教育教材として使用することがあることを理解の上、参加すること。

(8)監督会議は行わないので、ホームページに掲載される注意事項を良く読んでおくこと。

また、当日必要な連絡事項は、場内放送とともに会場に掲示する。

(9)車椅子の貸し出しはないので、必要な場合は各自用意すること。

(10)競技中は安全を第一に行う。大会に参加する選手は、健康体であり、大会の参加に備えてトレーニングを十分に行っていること。障がい以外に高血圧症、心臓病等の持病がある場合は主治医に競技参加の許可を得て出場すること。健康状態において、競技続行中止の命令が出た場合は速やかに競技を中止すること。

(11)その他、大会の開催について必要な事項は、第37回日本パラ水泳選手権大会実行委員会が定める。

22. 新型コロナウイルス感染拡大予防に関する注意事項

(1)会場内に入場する選手、介助者、競技役員等は2週間前の健康チェックシートを提出し、入場が可能と判断された者のみ入場できる。入場可能な者にはADカードを渡すので、会場内では首からさげること。

(2)入場時及び必要に応じて非接触型温度計にて検温を行う。

(3)会場内ではマスクを着用し、3密(密集、密接、密閉)を回避すること。こまめな手洗い、咳エチケットを心がけること。また、大声での会話や声援は慎むこと。

(4)感染症拡大防止のため、時間帯で区切るなど練習時の人数や会場の入場人数を制限することがある。

(5)その他、詳細は別紙⑤を確認すること。